

四條畷市総合教育会議（平成30年度第4回）
会議録

四 條 畷 市

1 平成30年11月28日 午後5時00分 四條畷市役所本館委員会室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市	長	東 修平
教 育	長	森田政己
教育長職務代理者		山本博資
教 育 委 員		吉田知子
教 育 委 員		竹内千佳夫
教 育 委 員		小田みゆき

3 事務局出席者

教育次長兼教育部長	開 康成	総務部上席主幹兼	藤井道幸
総合政策部長	藤岡靖幸	都市整備部上席主幹	
兼調整監		教育総務課事務職員	井上裕可
教育部次長	上井大介	総合政策部次長	喜多計成
兼学校教育課長		兼政策推進課長兼主任	
教育総務課長	板谷ひと美	政策推進課事務職員	安田直由
教育部上席主幹(教育総務担当)	木村 実		
兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長			
兼教育センター長			
施設再編室長兼課長	南森淳一		

4 会議録作成者

政策推進課事務職員	伊藤 李恵
-----------	-------

5 案件

- (1) 学校適正配置に向けた今後の取組みについて
- (2) 平成31年度の教育施策について
- (3) その他

<p>総合政策部長兼調整監</p>	<p>定刻になりましたので、平成30年度第4回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、全員のご出席をいただいております。</p> <p>本日は、去る8月29日の第3回会議に引き続き、学校適正配置に向けた今後の取組みなどについて、市長と教育委員で意見交換を行うため、お集まりいただきました。</p> <p>なお、会議録作成のため録音をさせていただくとともに、今後の市広報誌等への掲載のため、会議の状況を秘書広報課職員が写真撮影させていただきますのでご了承ください。</p> <p>それでははじめに市長から挨拶申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは皆様こんばんは。</p> <p>公私何かとお忙しいなかにもかかわりませず、お集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、学校適正配置に向けた今後の取組みに関して、前回の第3回で合意を図ったとおり、教育環境整備計画から学校適正配置に係る部分を切り離して、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設画の一部を成す学校再編整備計画の策定に向け、学校適正配置審議会を立ち上げられました。</p> <p>審議会における答申内容と、併せて実施した計画に盛り込む校区見直しに向けた地区ごとの意見交換での皆様の意見を最大限に尊重のうえ、先ほど開催の教育委員会でさらなる議論が行われたということでございますので、先ずはそのあたりについての意見交換を行わせていただいて、学校再編整備に向けた今後の方向性について、認識の共有化、共通化を図りたいと考えております。</p> <p>また、毎年見直しを行っている教育大綱、四條畷市においては教育振興ビジョンにつきましても、平成31年度の予算調製の時期を迎えており、次年度の教育施策についての考え方と整合を図るべく改訂を予定していますので、見直しの方針を共有させていただきたいと考えております。</p> <p>以上、限られた時間ではありますが、実りのある会議となるようご協力をよろしくお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。</p>
<p>総合政策部長兼調整監</p>	<p>ありがとうございました。それでは以降、市長、会議の進行をお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは次第に従って進めてまいります。</p>

教育総務課長

まずは、学校適正配置審議会における審議、そして答申内容、さらに校区見直しに係る地区ごとのお考え並びにそれを受けた教育委員会での議論、これらに関しまして、担当部局から説明をお願いします。

私のほうから、前回の総合教育会議以降の取組みとして、学校適正配置審議会と校区見直しに係る意見交換会等の経過をご説明させていただきます。

まず、学校適正配置審議会の経過についてです。おてもとの資料1をご覧ください。

この審議会は、当該地域に関係の10人を含む、15人の委員の皆様で構成し、10月5日の第1回を始まりに11月19日の第4回まで、記載のとおりの内容で審議を行いました。

全4回の審議会では、教育委員会が示す3つの課題について、学校再編整備に向けた着眼点と適正配置（案）について、小規模校の解消と当面の対応策について、校区見直しに係る各地区の状況について、計画を進めるに際しての留意点についてが大きな議題となりました。

このなか、特に議論が及んだ内容は、存続とした南小学校の小規模校への対策と、本市にふさわしい義務教育学校もしくは小中一貫校の検討について、東小学校の廃校等から生じる校区のあり方に加え、全市的な通学の安全対策という項目でございました。

資料2といたしまして、審議会からの答申をお配りしております。概要をご説明させていただきます。

まず、前文では、教育委員会がかねてから掲げる3つの課題解消を前提に、子どもたちの確かな学びと健やかな育ちを保証すること、中学校区のまとまりを大切に、ソフト、ハード双方からの環境整備を要望する旨が記載されています。

また、校区の見直しにあたっては、保護者並びに地域住民方々の意向を踏まえること、また、学校教育の充実により、四條畷市の魅力を創出し、まちの発展を呼び寄せる歩みを期待すると結ばれています。

次に、計画に盛り込む意見について、次の4点の内容をいただいております。

1点が、南小学校敷地への義務教育学校、または小中一貫校の設置については、円滑、適正な設置を行っていく観点から、児童生徒、

保護者、地域の視点を交えつつ、全国的な動向や先進事例の調査を進める旨計画に追記すること。

また、南小学校が抱える小規模校の課題に対しては、公教育の公平性を担保しつつ、可能な取組みは最善を尽くす旨記載すること。

2点は、国道163号以南、JR線以東地域に関して、小規模校の解消をめざす南小学校校区を含めて、賑わいや活性化に繋がる個別様々な方策の検討を追記すること。

3点は、適正配置を実施するに際しての留意点として、通学距離の緩和及び通学時の安全対策に関し、中学校における部活動の時間に関する配慮を加えること。

4点は、同じく、適正配置を実施するに際しての留意点として、転籍後の状況を把握のうえ、対応すべき事項は適切に実施を加えること。

また、小学校間、中学校区での交流機会の設定に関しては、児童生徒とその保護者、地域の意向を汲みながら進める旨追記すること。

最後に、計画を進めるに付す意見として、次の4点をいただきました。

1点は、校区の見直しにあたっては、現に通う児童生徒とその保護者の求めに応じた万全な対策、対応を行うこと。

2点は、計画の実施にあたっては、平成32年以降も保護者や地域の要請に基づき、必要性に応じた柔軟な対応にあたること。

3点は、東小学校廃校に伴う四條畷小学校への統合について、当該児童の円滑な転籍を実現すべく、南中学校休校時に実施した費用面、安全面での取組みを同じく進め、東小学校廃校に係る地域主導事業を積極的に支援すること。

4点は、通学時の安全対策に関し、東小学校を廃校とし四條畷小学校に統合する件では小学生の視点から、南小学校の進学先を四條畷中学校から西中学校へ変更する件では中学生の視点から、平成31年度内に、防犯カメラや防犯灯の整備、道路路面標示の実施、人的見守り体制の構築などに取り組むこと。

答申概要は以上でございます。

続いて、資料1下段の校区見直しに係る意見交換会等の経過についてご報告します。

平成32年度からの学校再編整備を進めるにあたり、南中学校の今後のあり方と小学校の適正配置の検討に加え、校区再編についても併行して意見交換等を重ねてまいりました。

まずは、通学距離の観点から、地区や保護者方々から要望が多かった南小学校の進学先を四條畷中学校から西中学校へ変更することについて、10月4日から15日までの間、南小学校の保護者を対象に、指定校、進学先に関するアンケート調査を実施いたしました。

お配りしている資料3、南小学校の指定校に関するアンケート結果報告をご参考ください。

このアンケートは、10月4日に南小学校在籍151家庭に配布し、12日までの間で回収しました。結果、95.4%の回答率で、144家庭から回答が寄せられました。

そのうち、97家庭が西中学校、28家庭が四條畷中学校を希望されるという結果になり、残りの19家庭については、私立等含むその他のご意見及び無回答となりました。

主な判断理由としましては、通学の距離やかかる時間、安全対策といった通学に関することを重視されている傾向が伺えました。

以下は、友人関係や施設整備関係を含む学校の教育方針等についての内容となっております。

また、10月20日には、南小学校多目的室にて、アンケート結果の報告を含めた保護者との意見交換会を開催いたしました。

参加人数は、29人で、アンケートの集約結果等をご提示させていただくとともに、保護者方々からのご意見ご質問等に対応させていただきました。

頂戴した主なご意見といたしましては、南中学校の休校に伴う兄弟姉妹の四條畷中学校転籍に関するご意見、兄弟姉妹に係る個別対応策への疑問、西中学校への通学に伴う安全対策、通学補助に関する内容などがありました。

その後、11月8日には、南小学校の保護者を対象に、四條畷中学校及び西中学校の見学会を実施し、渦中にある児童生徒とその保護者あて丁寧な対応に努め、南小学校の進学先を西中学校へ変更することは可能との判断に至りました。

次に、川崎地区、塚米地区、美田地区、中野新町地区の小校区見直しに係る検討状況についてです。

まず、川崎地区については、同じ地区から別の小学校に通う現在の状況を解消するため、10月10日付けで、川崎地区町会会長、子ども育成会会長の連名で、地区の総意として南小学校への一本化を求める要望書の提出がありました。

教育委員会といたしましては、地区からの要望であり、かつ、校区のねじれが生じないことから、南小学校への校区再編は可能と判

断いたしました。

次に、塚米地区について、この地区においても、現在、米崎町は南小学校、塚脇町、南野四丁目、五丁目、中野一丁目は東小学校が指定校となっている現状から、区長が川崎地区のような一本化を検討したいとのご意向を示され、区長からの要請により、10月17日に地域との意見交換会を開催しました。

そのなかでは、学校再編整備計画の策定経過や今後のスケジュール、四條畷市の教育のビジョンがわからないといったご意見、計画を進めるにあたり、通学路の安全や遠距離化への対策を行うべきとのご意見、自由校区制を希望するといったご意見、校区見直しにあたっての柔軟対応の内容がわかりにくいといったご意見、変更後の学校の特色がわからなければ判断できない、また、急な開催であったため、意見交換し難いといったご意見等をいただきました。

これを受け、改めて、いただいたご意見や質問をQ&A形式にまとめ、加えて、学校の特色、今後のロードマップを示した資料を準備し、地域で作成されたアンケート調査と一緒に、未就学児を含む保護者のご家庭に配布していただきました。

後の区長からのご報告では、未就学児の保護者を含む18家庭にアンケートを配布し、すべての家庭から回答をいただいたところ、16家庭が四條畷小学校を、1家庭が南小学校を希望され、残り1家庭が無回答の結果であり、地区としては、当初の案どおり、米崎町は南小学校、その他は四條畷小学校とのご意向を示されました。

また、区長と協議のうえ、改めて10月28日、29日に個別の相談会を開催することとし、28日の個別相談会には塚脇町から3人、29日には塚脇町から1人の保護者にお越しいただき、通学路の安全や遠距離化への対策、転籍時の制服補助や着用ルールに関するご意見、スムーズな転籍に向けた事前準備に関するご要望等をいただきました。

以上を経て、塚米地区については、当初の計画案どおり、米崎町の指定校は南小学校、塚脇町、南野四丁目、五丁目、中野一丁目の指定校は四條畷小学校とすることを決定いたしました。

次に、美田地区の状況についてでございます。

美田地区では、先の教育環境整備計画のなか、南小学校の廃校が決定され、これに伴い、平成32年度からの小学校区をくすのき小学校と定め、すでにくすのき小学校に通学している児童がおられる状況です。

このことから、10月24日に育成会役員を交えた意見交換会を

開催のうえ、新たな学校再編整備計画（案）において、当初の内容と異なり、南小学校の存続を予定していること、また、南小学校の進学先を西中学校に変更することを検討していることを謝罪し、地区との協議を経て、美田地区の指定校を南小学校へ再度変更が可能な旨を説明させていただきました。

そのなかでは、南小学校が存続するのであれば、美田地区の指定校は自動的に南小学校になると思っていたとのご意見がある一方、途中での転籍を避けるため、先んじてくすのき小学校に通っていて、このような状況で、再度、指定校が南小学校になるのは納得できないといったご意見がありました。

また、指定校変更や柔軟対応の内容をわかりやすく示し、未就学児を含む美田地区の保護者全体の意向を把握するべきとのご意見があり、指定校変更の内容を示す資料と併せ、自治会、育成会、教育委員会の連名によるアンケート調査を実施いたしました。

このアンケートは、未就学児の保護者を含む54家庭に配布し、40家庭から回答をいただき、30家庭が南小学校を、10家庭がくすのき小学校を希望されました。

これを受け、11月14日付けで、美田町自治会会長、育成会会長の連名で、美田町の校区を南小学校に変更する要望書の提出があり、教育委員会では、この内容を尊重し、美田町の校区を南小学校へと変更することを決定しました。

次に、中野新町の状況についてです。

中野新町については、平成29年度に南中学校の休校を決定して以降、西中学校への近接性、身近な公共交通機関がないとの理由から、原則、四條畷中学校を指定校としながら、西中学校への指定校変更を認めてまいりました。

しかしながら、本年8月の意見交換会のなか、学校を選ぶことへの心的負担が大きいとのご意見をいただき、今回の検討のなか、南小学校の進学先が西中学校となれば、こちらへ一本化すべく、10月30日に地域への説明を行いました。

そのなかでは、四條畷中学校に進学できる選択権を残してもらいたい、四條畷中学校への通学補助はいつまで継続されるのか、少人数で転籍、進学したときの児童生徒への配慮をお願いしたい、四條畷中学校に通う上の子が卒業したら下の子は四條畷中学校には行けないのか等のご意見がありました。

教育委員会といたしましては、度重なる校区の見直しにより、ご迷惑をおかけしているところではありますが、先に申し上げた南小

<p>市長</p>	<p>学校での保護者アンケートの総体的な状況並びに、当日の保護者の方々からのご意見が、転籍後における運用面での内容が主であったため、南小学校の進学先が西中学校となれば、西中学校へ一本化することを決定いたしました。</p> <p>11月22日には、学校再編整備全般に関する意見、質問にお答えし、理解をいただくため、楠公地区区長からの働きかけにより、育成会役員との意見交換を実施いたしました。</p> <p>これらについては、本日の教育委員会定例会のなか、学校再編整備計画を成案化するに至ったことから、市議会への市立学校に関する条例の改正の上程、可決を経て、四條畷市立小中学校の通学区域に関する規則を改正する予定としております。</p> <p>最後になりましたが、各地区の意見交換会では、本日説明させていただいたもの以外にも、種々のご意見をいただいております。</p> <p>詳細は、資料4として、校区見直しに係る主な意見一覧をまとめておりますので、後ほどご参考いただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、教育委員会事務局から学校適正配置審議会での審議及び答申内容の説明並びに校区見直しに係る経過を説明いただきました。</p> <p>本日の午後に行われた教育委員会定例会の議論の内容も説明いただいておりますでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>私の方から本日の教育委員会定例会のなか、先に板谷課長から説明した内容と要素をもとに、議論した内容について報告します。</p> <p>まず、学校再編整備計画の大要については、教育委員会が掲げる3つの緊急課題、校区のねじれ、小規模校化、校舎の老朽化は、現状も喫緊に解決すべき内容であること、東小学校及び南中学校の廃校については、現状の小規模校化を早急に解決すべきであることに加え、敷地内に土砂災害警戒区域があることから、総合的に勘案して廃校はやむなし、南小学校については、国道163号南の地域コミュニティの維持を求める声を踏まえ、人的配置を条件に付し、存続の方向を示しました。</p> <p>よって、東小学校は平成31年度末で廃校し、四條畷小学校と統合、南中学校は平成30年度末で廃校し、四條畷中学校と統合、四條畷小学校、南小学校は存続するといたしました。</p>

なお、国道163号より南、JR線より東側の地域の地域活性化策、及び南中学校跡地に防災機能はもとより地域コミュニティに寄与する環境整備を市長あて具申させていただきたい。

校区再編については、地域の実情や地域方々の意見を尊重するため意見交換会やアンケートを行うなか、その結果を踏まえ、以下のとおりいたしました。

まず、南小学校の進学先を四條畷中学校から西中学校へ変更、川崎地区については、地区からの要望を受け、南小学校、西中学校に指定校変更、塚米地区は計画どおり、米崎町は南小学校、西中学校へ、米崎町以外の地域は東小学校から四條畷小学校、四條畷中学校へ、美田地区は地区からの要望を受け、指定校をくすのき小学校から南小学校へ変更、中野新町地区は、指定校を四條畷中学校から西中学校へ一本化、中野本町地区は、従来の計画どおり平成32年度から岡部小学校、西中学校へ変更とします。

各地区における柔軟対応については、兄弟姉妹が同じ学校に通えるよう配慮することをはじめ、指定校以外の小学校を選択した場合、指定校以外の中学校を選択することができるとしました。

平成31年度における柔軟対応はいずれも期限を原則12月25日までとし、南小学校の現6年生については、原則四條畷中学校を指定校、進学先とするが、生徒、保護者が特に希望する場合、西中学校への指定校変更を認める。

現在、四條畷中学校に通っている南小学校区在住の生徒は、西中学校に指定校変更ができる、現在、くすのき小学校に通っている児童は、南小学校に編入することができる。

ただし、東小学校の平成31年度1年生については、通学路の安全対策が未実施であること、ふれあい教室を含むハード整備が間に合っていないことから、事前に四條畷小学校への指定校変更は原則認めず、全員東小学校で1年を過ごし、2年生で転籍する旨保護者へ協力を依頼します。

また、転籍に係る心的負担軽減のための交流事業は学校間で取り組みを進めてまいります。

次に、いただいた答申の計画を進めるに付すべき意見への対応といたしましては、校区の見直しは保護者の求めに応じ個別対応をはかること、平成32年度以降も保護者や地域の要請に基づき必要性

に応じた柔軟対応をとることについては、四條畷中学校生徒、保護者を対象とした2回めのアンケートの実施、東小学校での意見交換会や四條畷小学校、南小学校における学校生活に関するアンケートの実施を検討します。

次に、関係校区住民への報告については、11月末に学校再編整備計画の内容を記載したkyokanヘッドラインニュースを全小中学校配布、就学前施設配布、12月8日には南小学校で、9日には東小学校及び四條畷小学校を会場として、保護者や地域方々を対象とした報告会を行います。

加えて、市ホームページへアップ、地区回覧板、地区ポスター掲示、12月15日には広報誌配布といった、あらゆる方法を用いて周知を図ってまいります。

また、この学校再編整備計画の実施に伴い、市長あて予算化について具申させていただく点についてです。

南中学校休校に伴い行った補助をベースとして、安全対策として保護者や学校の意見を伺いながら、防犯カメラや防犯灯、カーブミラー設置、安全指導員配置、路面標示実施などの予算が必要かと思われまます。

制服補助は、東小学校から四條畷小学校への転籍にかかる標準服他、四條畷中学校から西中学校への転籍にかかる制服補助他、くすのき小学校から南小学校への転籍にかかる体操服等となります。

また、東小学校廃校に伴う地域主導事業を支援する必要があるかと思われまます。

最後に、今後の予定として1月議会において、市立学校に関する条例改正のための議会上程と同時に、先ほど申し上げた補正予算を債務負担で要求させていただきたい。以上でございます。

市長

ありがとうございます。

本日午後の教育委員会定例会でご議論いただいた内容について、ただいま教育長からお示しいただきましたが、加えて、各委員から補そく等ございましたら、先にいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

ないですか。いいですか。

それでは私からいくつか。

<p>教育長</p>	<p>今、お示しいただいたもの、事務局、教育長から説明いただいたなかで、いくつか質問させていただければと思います。</p> <p>まず、四條畷市学校再編整備計画、取りまとめていただいたなかで、ページでいくと16ページ。これまで西部地域を中心とした適正配置の検討がなされてきたと思いますけれど、東部地域における適正配置（図7）、と表記がなされています。</p> <p>こちらに関しましては、私としても、11月上旬に公共施設再編に係る市長との意見交換会を実施させていただいたとき、田原地域の方からご意見が出ていた関心の高い内容と思っているところです。</p> <p>これにつきまして、教育委員会での議論の内容であったり、どのような見込みでこのような検討をされていくイメージなのか、先ず教えていただきたいと思います。</p> <p>東部地域における計画については、平成27年3月に策定した教育環境整備計画に準じた形で進めております。児童生徒数の推移を見まして、現在も1小1中である地域で、早くから小中連携の取組みを進めておりますので、ここにも書いていますように、田原小学校の敷地に義務教育学校、小中一貫校の建設を検討してまいりたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
<p>山本職務代理者</p>	<p>東部地域のことなんですけれども、15ページのところに、文章として書かれていると思います。</p> <p>審議会の答申のなかでも、義務教育学校あるいは小中一貫校についても、国及び他府県の動向等を踏まえて検討すべきという項目があったかと思います。</p> <p>私自身も、前回の総合教育会議で申し上げているとおり、南小学校を義務教育学校にしていく方向性と同時に、多くの小中学校が一貫校になっていけばいいという思いをずっと持っております。ただ、義務教育学校については、整備の条件がありますし、なおかつ多岐にわたる相当多額な学校の建設費がかかるということがありますので、平成32年から即そこに移行することについては、いろんなハードルを越えなければいけないと思っています。</p> <p>田原地域の小中学校については、早くから小中連携をずっと検討しておりますし、それは我々教育委員会が小学校と中学校の一体化に向けて、特にモデル校としている部分がありますので、当然、学</p>

<p>市長</p>	<p>校再編整備計画と並行といいますか、同じ流れのなかで考えていかなければならないと思っておりますが、すぐに結論が出る問題ではないと考えています。</p> <p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>今回、西部地域において一定の再編を行っていくなかで、たとえば、東小学校であれば土砂災害警戒区域に敷地が含まれているご説明があったかと思っておりますが、私の認識が正しければ、田原中学校においてもそういう側面があるのではないかと考えています。</p> <p>また、先日ですけれども、市長への意見箱にも、これだけ災害が続くなか、田原中学校がそうした警戒区域に含まれているところを懸念されているご意見も出ている状況で、研究が必要で、ずっと見通しもあまりないままですと、住まれている方々、保護者の方もいつまでかご不安も募る可能性もあると思うのですけれども。そのあたりの、災害面も含めて。</p> <p>小中一貫校、義務教育学校の検討をされるのはそのとおりだと思いますけれども、施設立地面も含めてどういうご見解というか、議論をされているか教えていただければと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>現在、東部地域だけではなくて、市内一体でより良い教育環境をというのが教育環境整備計画の出発点だったと思います。</p> <p>今、西部地域が焦点化されたような形になっておりますけれども、私としましては、四條畷一体で、より良い教育環境づくりを進めてまいりたいということで、それにつきましては、今後の児童生徒の状況、それから先ほど職務代理者が申しましたように、早くから東部地域については連携で、西部地域に先んじて一貫教育の研究を進めてきておりますので、この研究の成果を踏まえて、継続して西部地域にも発信できる形で進めていきたい。</p> <p>状況によりましては、先ほど市長からご指摘がありました、田原中学校が土砂災害警戒区域及び土石流氾濫区域に指定されておりますので、今後、市長部局と連携しながら予算等々で我々の考えをお話しさせていただいて、共有しながら、東部地域でのあり方について進めてまいりたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>わかりました、ありがとうございます。</p> <p>そのうえで、田原については、今お示しいただいたとおりかと思うのですが、地域の皆様ともお話ししていくうえで、南小学校については、今後、将来の年少人口の増加を見据えながら、こちら</p>

<p>教育長</p>	<p>も義務教育学校、または小中一貫校の設置を検討と、やはり丁寧な検討、先進事例の研究が必要と。</p> <p>将来の年少人口の増は、おおよそ、今のところ、イメージでいうと、それまでに研究や調査が終わっていたとしたら、どういう状況になった場合に小中一貫校であったり、義務教育学校を見据えておられるのか教えていただければと思います。</p> <p>中長期的な形でお答えをさせていただいたと思うのですが、今後、私としては、今ある小規模校での単学級、あるいは1学年2クラスでの小中一貫校、義務教育学校は、運営上難しいのではないかなと思います。</p> <p>それにもかかわらず、他府県での先進事例のなかに、一つの学年が2クラスという事例もございます。このへんで、果たして有効にできるかどうか、その方法等、実践事例を研究させていただいて、私としては、今の時点で最低1学年3クラスぐらい必要ではないかと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>南中学校が開校していた時期のクラスの規模数であれば、比較的難しいのではないかという見解であって、今後、調査であったり研究していくなかで、それらの判断を見極めていくお考えですけれども、今の時点では、その規模では難しいのではないかというお考え、それらが将来の年少人口と関係しているという理解でよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>わかりました。</p> <p>前回、総合教育会議の場で、再編に伴って、通学距離がいつも一番の関心にあがってくる部分かなと私としては認識しています。</p> <p>そのうえで、今回、教育委員会定例会で決定された四條畷市学校再編整備計画において、今回影響のあった地域で、小学校、中学校で一番遠くなる地域と通学距離がどのくらいかお示しいただきたいと思います。</p>
<p>教育部上席主幹 (教育総務担当) 兼学校教育課人権 教育・教科指導担</p>	<p>通学距離に関しまして、ご報告申し上げます。</p> <p>先ず、四條畷南小学校につきましては、楠公一丁目からが一番遠くなりまして、0.8km、四條畷小学校につきましては、今回再編の対象となる畑中地区が1.2kmになっています。ただし、四條畷</p>

<p>当課長兼教育センター長</p>	<p>小学校は、もともと清滝団地が含まれておりますので、清滝団地につきましては、1.8kmを通過しているという現状にあります。</p> <p>中学校のほうですけれども、四條畷中学校、この案でいきますと、畑中地区が1.8km、四條畷西中学校の一番遠いところにつきましては、楠公一丁目から1.6kmとなっています。以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>小学校で、南小学校が楠公で0.8kmということですかね。四條畷小学校で、清滝団地の1.8kmがあるとしても、今回の再編の関係地域で見ると畑中の1.2km。</p> <p>中学校が、畑中から四條畷中学校が1.8km、楠公から西中学校が1.6kmというところかなと思います。</p> <p>これでいきますと、基本的にはどの地域、どの小学校、中学校問わず、1.8km以内の通学距離になっていると思っています。南中学校休校時には、2kmを超える通学距離の地域があったと理解しているのですけれども、今回、地域の皆様方の要望であったり、地域の皆様と教育委員会のやりとりで、差分が緩和されてきている案かなと認識しています。</p> <p>わかりました。</p> <p>そのうえで、通学に関してもう少しお伺いしたいのですけれども、先ほどの資料2で、計画に盛り込む意見のなかで、3番、中学校における部活動の時間に関する配慮を加えること、というご意見が審議会からあったとのことですが、具体的にはどういう配慮を教育委員会として検討しているか、教えていただければ幸いです。</p>
<p>山本職務代理者</p>	<p>部活動の時間の運用については、審議会で行われている部分については、冬、暗くなる時の下校の問題があるので、こういう意見が出ているのかなと推察しています。</p> <p>したがって、通学路の安全という意味では、ハード面の部分も必要だと思いますけれども、今後、活動時間を早くし、明るいうちに下校ということも、実際にはその当該の学校との話し合いもありますけれども、できる限り考慮していかなければならないと思っています。</p>
<p>教育長</p>	<p>審議会からありました意見もさることながら、この1年間、南中学校の休校に伴いまして、南中学校の生徒が四條畷中学校のほうにほぼ転籍しました。従来よりも、その下校時刻を少し早めた形で実施しているというのを現場から聞いております。</p> <p>今後、これとは関係するかはわかりませんが、働き方改</p>

<p>市長</p>	<p>革とも兼ねあわせて、週の活動時間を少し考えていきたいと思っています。</p> <p>子どもたちの通学路の安全対策については、ここにありますように、部活動の適切な時間とは一体何かを、今後考えていきたいと思っています。</p> <p>わかりました。</p> <p>これは先ほどご説明がありました、防犯カメラであったり防犯灯であったり、路面標示、人の配置よりももっと前に、そもそもの終了時刻に関する配慮を加えることという審議会の意見と捉えられていて、それを検討していくと。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>今年度、南中学校と一緒にさせていただいて、活動のなかで、学校としても、秋季の下校時間を早める期間を早めたり、そういう配慮はすでに行っていますので、今後もそういう対応を随時やっていくと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>そのあたり、審議会からいただいている意見ですので、丁寧に学校と教育委員会のほうでご議論いただいて、保護者の皆様にも納得のいく形で実施いただきたいなと思っています。</p> <p>そのまま、審議会からのご意見の部分でお伺いさせていただきたいんですけども、私も教育長と一緒に地域等々を回らせていただいているなかで、通学で、一番は物理的な不安だと思うんですけども、心的な不安として、統合ないしは、新しく通うところの先生間の連携がきちり取れているのか、もともとたくさんクラスがあるなかで飛び込んでいったときに、少し疎外というか、他のすでにいる子どもたちとの距離が離れてしまうのではないかという不安が、心的な不安でいくと一番多かったのではないかなと思います。</p> <p>小学校間であったり、小学校中学校間の交流機会であったり、先生たちの事前の受入れ準備、こういうところが非常に重要なと考えております。</p> <p>南中学校の休校時も種々ご説明させていただいたなかでも、もっとも交流機会が欲しいというお声もあったかと思いますが。そのあたりについて、教育委員会でご議論されていることがありますか。</p>
<p>山本職務代理者</p>	<p>先ほどの教育委員会の会議でも申し上げたのですが、特に平成31年度の東小学校と四條畷小学校の学校間連携は、すごく大</p>

	<p>事だと考えております。そういう意見を申し上げて、学校主導もあるんですけども、教育委員会が指導するなかで、いろんな行事を含めて、頻繁にそういう交流をしてほしいということを申し上げて。事務局のほうでそういう案を作っていくという結論でしたので。</p>
<p>市長</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>保護者の方から率直な意見を伺うなかで、学校の先生方も、強く意図したわけではないですけども、どこかこう、新しく来た子に対して、捉え方によっては生徒が傷ついてしまうような発言が先生からもあったというようなことを私も直接聞いているような状況です。教育委員会として強くリーダーシップを発揮していただいて、学校に任せるということではなくて、強く校長先生以下先生に働きかけていただきたいと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>生徒の不安もそうなんですけれども、生徒の不安と同時に保護者も不安であるということで、PTA役員同士レベルの話も来年度は密にしていってもらう予定です。</p>
<p>市長</p>	<p>小学校であったり、小中学校というところもですかね。PTAでしっかり深めていくということですかね。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>小中学校の連携は今のところ話は出ていませんけれど、東小学校、四條畷小学校は、これからの話合いだと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>今回、南中学校休校という文脈で、すでに四條畷中学校に行かれている観点があるので、そこよりもまず新しく統合になる東小学校、四條畷小学校をしっかりと密にやっていくということですかね。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>私もかつて北出小学校と西小学校の統合のときに、子どもたちのほうは比較的、蓋を開けたら慣れるのが早いというか、じきに慣れていく部分もあったかと思うんですけども、保護者の方、特にPTAの会議、会則、いろんなものが違うものですから、そのへんのやりとりというか、軋轢が若干あったので、そのへんはじっくり協議する場を設けて、保護者のほうの連携、地域も含めて、地域同士の連携ももちろんあるだろうし、様々な子どもを取り巻く環境、十分に配慮していってほしいなと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>地域を回らせていただいた際のご意見のなかで、連携をとれているのか不安だという声に対して、実際に事務局からこれぐらい連携して話を進めていたんですよ、という話をすると、それなら安心できたのにと話もあつたりしたので、しっかりと連携しているところを子どもたちであつたり保護者の方に発信する行為が非常に重要です。</p> <p>実は連携が進んでいるのに、なかなか届いていないという事象が今後起きうるのかなど。不安をたくさん抱えておられる皆様なので、1個1個やっていったことを、どんどん保護者に届けることを常に念頭に置いていただきたいなど。その発信の部分もどうかお願いしたいなと思います。</p> <p>きめ細やかにしっかりと対応していく必要があるなかで、先ほど教育長のほうから、四條畷中学校に関して2回めのアンケートを行って、というご説明があつたかと思えますけれども、7月に四條畷中学校の生徒、保護者の皆様と意見交換をさせていただきました。地域の方からも3ヶ月後だけでなく、一定期間が空いてからの、1年を通しての統合した、合体したときの状況を知るべきだというようなご意見は複数いただいたかなど。</p> <p>そのあたり、どういうイメージでやっていただくかももう一度教えていただいてよろしいですか。</p>
教育長	<p>今、市長がお話しされたことは、この8月に地域に行ったときに、非常に要望として熱く語られていたのを記憶しております。</p> <p>そのときに、私がお答えさせていただいたのは、もちろん、この1回限りのアンケートではなくて、子どもたちがこのあと2学期を過ごしてみてどうだったか、しっかりアンケートを取っていきたくと、できれば、際々ということではなくて、3学期に入ったあたり、1月後半から2月ぐらいで実施させていただいて、ご指摘があつたように、連携を密に、しっかりとやったことを発信させていただいて、保護者にご理解していただき、それが今度の小学校のほうでも生かされるように努めてまいりたいと思います。</p>
市長	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>それと、この計画全体を通したなかで、行政は複数計画を持っていますけれども、だいたいその始まりの年から、終わりの年が書かれているのが計画全般に見られています。たとえば5年をめぐり、10年をめぐり改訂を行うとか。</p> <p>本計画を私のほうで見させていただいたところ、そういう設定が</p>

<p>山本職務代理者</p>	<p>見受けられなかったなと思うんですけど、教育委員会のなかで、どれぐらいのイメージ感でこの計画の期間を持たれているのか。あるいは、こういう状況になれば見直しを行っていくというご見解があれば教えていただきたいのですが。</p> <p>計画について、いついつまでというのを検討したことはないんですけども、私自身は、学校再編整備計画として学校再編を含めて計画をしておりますので、現在関係する小学生が中学校に行くことが最終ではないかなと思っています。なおかつそのうえで、先ほども申し上げました、小中一貫校ですとか義務教育学校があります。</p> <p>これは、平成32年に東小学校と四條畷小学校の問題を片付けることが先行ですので、その後、早い機会に義務教育学校の議論もしなければならぬと思いますので。</p> <p>いつまでというふうにいわれたら、おそらくめどがつくのは平成32年度の東小学校の子どもたちが中学校に入る、あるいは中学校を卒業するぐらいまで、保護者の意見あるいは子どもの意見を聞いて対応していかなければいけないリミットかなと個人的には思っています。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>竹内委員のほう詳しいかもしれないですけど、くすのき小学校が統廃合されたときは、1年生で入った子が卒業するまではなかなか落ち着かず、保護者も生徒も落ち着くまでには一巡するまでかかったと聞いています。</p> <p>なので、そこまでは必ず見守ってというか、考えていかなければならないですし、その頃の人口推移も考えていかなければならないと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>わかりました。</p> <p>確かに、この計画の6ページを見させていただいた場合にも、平成36年の見込み、一巡というか30年度から見たら7年間あるなかで、今の時点で想定されている南小学校以外の小学校では、基本的に12学級以上という状況なのかなと。</p> <p>中学校においても、田原でも9学級という状況と思っているので、学年で複数クラスがこの見込みですと達成されている状況で、この期間ぐらいまでは計画を維持していきながら、その後についてはそのときの人口の状況であったり、クラスの状況であったりを鑑みる想定をされている理解でよろしいでしょうか。</p>

	<p>(異議なし)</p> <p>わかりました。</p> <p>加えて、教育長からご説明があったかと思いますが、制服であったり、南中学校の休校に伴うときの対応と近い形であったと思うんですけども。</p> <p>この際、地域の方々との意見交換のなかで、再編が決まったら決まったで、安全の確保であったり安心の対応は保護者の皆さんの声を聴いていただきたいという声がたくさんあったかなと思うんですけど、今の時点でこれらの対応の吸上げはどういう状況にあるのか、聞かせていただいてもいいでしょうか。</p>
<p>教育部上席主幹 (教育総務担当) 兼学校教育課人権 教育・教科指導担 当課長兼教育セン ター長</p>	<p>吸上げの状況になりますが、制服の補助につきましては、南中学校の休校に伴う措置を基準に検討しております。</p> <p>防犯カメラ、路面標示、人的配置の実施等の安全対策については、今、検討している最中にあります。南中学校のときも全保護者にアンケートを取りまして、ここは防犯カメラが必要であるとか、人的配置が必要であるというアンケートを取らせていただいた経過にありますので、今回も同じようにこの計画が本日決まりましたので、すぐさま該当の小学校に保護者の声を聴くべく、アンケート調査を実施してまいる予定であります。</p>
<p>市長</p>	<p>そのうえで、皆様の意見を吸い上げたうえでどういう形にしていくか検討していくということですね。</p>
<p>教育長</p>	<p>今後、この費用については、南中学校の休校に伴う子どもたちの転籍を実施させていただいたことを参考にしたいと思います。</p> <p>私としては、アンケート調査をさせていただいたなかで、やはり一番関心が高かったのは安心安全の部分と、先ほどから出ています、統合による教師の言葉、配慮、そういった部分についてもいただいたご意見に重きを置きながら今後も進めてまいりたいと思います。</p> <p>我々としては、より良い教育環境をとということで進めてまいります。前にもありましたように、スムーズな転籍、ここを重点に、この1年間行ってきたことをもう一度精査しながら、何が必要かを考えていきたいと思っています。</p>
<p>教育部上席主幹 (教育総務担当)</p>	<p>先ほどの予算に絡むことをもう少し詳しくお話しさせていただいてよろしいでしょうか。</p>

<p>兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	
<p>市長</p>	<p>はい。</p>
<p>教育部上席主幹 （教育総務担当） 兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>制服の補助につきましては、東小学校が四條畷小学校の転籍に係る標準服等の補助、美田地区ですけれども、くすのき小学校から南小学校に転籍したいといわれる保護者への補助、また、今回、現在四條畷中学校に通っておられる兄弟関係のある生徒から西中学校に戻りたいと言われた場合の制服の補助を現在検討しております。</p> <p>また、安全対策としましては、先ほど申し上げましたが、防犯カメラ、路面標示、安全指導員につきましては、南中学校に準じておりますが、意見交換会のなか、防犯灯の設置、カーブミラーについても意見が出ておりますので検討しています。</p> <p>最後に、東小学校廃校に係る地域主導事業についても検討している最中です。</p>
<p>市長</p>	<p>わかりました。</p> <p>いずれにしても、しっかりと保護者の皆さんのご意見を吸い上げていただいたうえで、当然予算にも関わることとなりますので、また、市議会の皆さんと協議させていただく必要がありますので、丁寧に安心していただけるようにきちっと意見を汲み取っていただいて、そのうえで予算額をお示しいただきたい。</p> <p>私としましても、不安に思っておられるお子さん、保護者の皆さんに安心していただける形で、全体の予算を見ながらにはなりますけれども予算調製をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>来年度、再来年度のことになりますので、保護者のほうもすべてのことに関して早く決めてほしいという思いが強いと思いますので、予算のほうも早くお願いしたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>それは私の一存で決めることではないですけれども、しっかりと協議、調整させていただけたらと思います。承知いたしました。</p> <p>今、種々聞かせていただきましたけれど、教育委員のほうで、これまでの議論を含めて、計画を含めて、この点は強調しておきたい</p>

<p>吉田委員</p>	<p>という点があれば、おっしゃっていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>学校再編整備計画の14ページの一番下の適正配置に併せて検討していく事項のところですが、将来的に南小学校敷地に義務教育学校、または小中一貫校の設置を検討とされているんですが、それを市長と共有しておかないと、将来的に義務教育学校が建てられなくなるような土地になってしまうと、こちらの案が成り立たなくなってしまうと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>教育委員の皆さんもご理解いただいていると思いますけれども、施設再編室を中心に公共施設の再編の案の策定に取りかかっておりまして、めどとして来年の夏までに個別計画の策定をめざしている状況です。</p> <p>仰ったとおり、そうした余地といえますか、こちらに記載されていることが可能となるような運用は、当然認識しておるところですが、教育長も仰いましたが、現在の調査段階では、中学校の1学年2クラスの可能性が高いのではないかというお話もありましたが、その間、ただただ土地として置いておくのは、資産の活用において、一定どうかという視点もありますので、まったく更地でおいておくかは検討の余地があると思っています。</p> <p>市が所有しているかけがえのない資産になりますので、その間も、なるべく市民皆様にとってプラスになるような運用も含めて、ただ、将来的にはこちらに記載してある運用にも対応できる形、これは施設再編室を含めて考えていく必要があると思っています。</p>
<p>山本職務代理者</p>	<p>学校再編整備計画を作るに際しまして、一番我々が悩んだところは南中学校の跡地の問題だと思っています。</p> <p>前回の総合教育会議で、市長から跡地については防災機能を含めて地域コミュニティに関する何らかの整備を行うと伺ったんですけれども、改めて、是非そのことについては、地域の強い要望もあり、我々もそれを前提にして案を作ったというのがありますので、改めてお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>先ほども申し述べました、11月前半に全10回、各小学校単位で行わせていただきました公共施設に関する意見交換会でもよくいただくご質問の一つで、南中学校が廃校になった場合の跡地活用がありました。その際にも、ただいま職務代理者が仰ったような防災</p>

<p>教育長</p>	<p>機能を有する観点の整備を考えていきたいと、案にしていきたいと私からも再三地域に対しても、意見交換会でもご説明しておりますので、そういう案を取りまとめていきたい考えです。</p> <p>その他、教育委員のほうから。</p> <p>私が悩んでいる点がございまして、当初、南中学校休校に伴う転籍の際に先ほども触れられたと思うのですが、入学した学校で卒業してもらおうということで、市長と一緒に四條畷中学校に寄せていただいたときに、子どもたちからどうなるんですかと、再校できるんですか、という意見がありました。</p> <p>もし、再校できたら戻れるんですか、とかあったのですが、私は子どもたちにもそうですし、他の保護者の方からのご質問に対しても、入学した学校で卒業してもらおうことを説明してきたと思っております。ただ、今回の場合、下の子が西中学校に入るタイミングで、現在四條畷中学校に通っている上の子について、ひょっとしたら西中学校にというのが出てくると思うんですね。このあたりが非常に頭を悩ませているところです。</p> <p>意見というか、今の思いを述べさせていただいて、従前から様々なご事情があろうかと思えます。そのへんは、教育的配慮で教育委員会で対応してまいりました。いわゆる個別対応で、場合によっては転籍を行っていきたいと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>いずれにせよ、状況状況できめ細やかな対応が必要となってくるケースのお話を仰ったと思うのですが、それは十分ご協議いただいて、一つ一つのケースと捉えていただいてご対応いただければと思います。</p> <p>確認ですけれども、今後のスケジュールを教えてくださいと思います。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>今後のスケジュールについてでございます。</p> <p>本日の会議で学校再編整備計画について、市長との共有、合意が図れたのであれば、以降は該当校区、地区をはじめ、全市域への周知を図ろうと思っております。</p> <p>先ずは、12月6日に四條畷小学校、南小学校、東小学校のPTA役員の皆様を対象とした報告会の開催を考えております。その後、8日には南小学校の校区の皆様であるとか、保護者の皆様の報告会の開催、9日には四條畷小学校、東小学校校区の皆様を対象とした報告会の開催を考えております。</p>

<p>市長</p>	<p>その後、市議会あてに来年1月の市立学校に関する条例の改正、補正予算案の上程を行うべく、担当部署での準備調整にあたってまいりたいと思います。</p> <p>わかりました。</p> <p>今日が11月28日なので、明日以降、迅速に広報等々やっていたいで、呼びかけをしていただくスケジュール感であるかと思えます。</p> <p>また、平成32年4月に向けて、先ほど事務局から説明がありましたけれど、条例等の提出を1月を念頭に置いて、現在進めているとあったかと思えます。承知いたしました。</p> <p>なにか、教育委員の皆さんから付言することがあれば。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>先ほど言おうかなと思ったところですが、14ページで南小学校が小規模校に残ったということですが、真ん中にありますように、子どもたちが小規模校になることで活性化がどうなるかなという心配が若干あるんです。</p> <p>小規模校のメリットを最大限に生かすきめ細かな指導、家庭的なとか家族的ないろんな指導が可能になりますので、人的配置もたくさんするので、小規模校のメリットを最大限生かした学校教育、教育活動の展開を是非お願いしたいと思えます。</p>
<p>市長</p>	<p>わかりました。</p> <p>それについては、先ほど地域と意見交換させていただくなかで出ておりましたけれど、市全域で見たと、市域全体の教育上の観点と小規模のメリットを生かした、どっちもの観点が必要になってくると思えますので、十分教育委員会でご議論いただいて対応いただいたらと思えます。</p> <p>そのほか付け加えはありますか。</p>
<p>小田委員</p>	<p>だいたい出尽くした感じなんですけれども、一つ付け加えというか、私の気持ちなんですけれども、今までの会議でもお話ししているとおりに、南中学校と東小学校の地域に、防災拠点となるコミュニティセンターを置いていただきたい。</p> <p>それと文章にあるとおりに、市長の合意のもと、市長部局と共に、賑わいや活性に繋がる個別様々な方策を検討していただきたい。そこに人が集まればいいな、ボール遊びができるような広場があればいいなと、私個人の意見で思っております。</p>

<p>市長</p>	<p>どんなふうにその地域が賑わっていくかは、行政だけがこういうものがないのではないかとというより、地域の方々がどういうものを望んでおられて、どういうふうに活用していきたいと思っておられるか、というご意見が非常に重要になってくるかと思えます。地域の方々にとってより良いものを作っていくために、地域の方からたくさん声をいただくなかで、案としてまとめていけたらと思えます。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>重複するかもしれないですけども、東小学校の地域主導事業、これから計画されると思うのですけれども、ある程度こちらから予算というか、お金を出してあげなければできないことが多々あると思えます。できるだけご努力いただけるようこちらからお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>どういう趣旨のものか、どういうものがあるかわからないといきなり予算にはならないと思えますので、東小学校でしっかりご議論いただいたなかで、東小学校として廃校を迎えるうえで、どういうことを行いたいのか、東小学校からきっちりとお示しいただいたうえで、予算はその後の議論になってくるのかなと思えます。</p> <p>南中学校休校の際にも実施された、私の記憶が正しければ南の本気祭という名前だったと覚えています。私も見させていただいて、子どもたちが生き生きと自主的にたくさん取り組みをやっておられて、笑顔で南中学校で時を過ごしたことを誇りに思うようなイベントになっていたなど私も見て思いましたので、今後、円滑な統合に繋がって、地域の皆さんにとって意義深いものになっていくのであれば、一定、行政としても何らかの配慮が必要と認識しています。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>もしなければ、学校適正配置に向けた今後の取り組みについては終わらせていただければと思えます。</p> <p>それでは、次第に従って次の案件に進みたいと思えます。平成31年度の教育施策について、担当部局から説明いただきます。</p>
<p>総合政策部長兼調整監</p>	<p>本市においては、平成26年度策定の教育振興ビジョンを教育大綱に位置付け、その内容については、社会情勢や時々の教育環境に合わせた適宜の対応が必要との認識から、これまで年度ごとの改訂</p>

<p>教育部次長兼学校 教育課長</p>	<p>を重ね、その推進を図ってまいりました。</p> <p>昨年度も、市長と教育委員の皆様の意見交換を踏まえて改訂を行い、現在に至っております。</p> <p>次年度に向けた改訂に関しましては、次に教育委員会事務局からご説明申し上げる内容に加え、今年度に改訂を行ったいじめ防止基本方針や今年度中の策定を予定している第3次食育推進計画等の内容に沿うべく、会議後、庁内調整のうえ改訂案を作成し、次回以降、当該内容について総合教育会議で意見交換を行い、平成31年3月末の改訂をめざしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>この後、教育部が所管する内容につきましては、教育委員会事務局より説明をお願いします。</p> <p>教育委員会事務局から、今年度改訂された教育振興ビジョンのことからお話しさせていただきます。</p> <p>今年度改訂された教育振興ビジョンのもと、就学前教育、学校教育、社会教育、ハード整備の4つの枠組みのなか、各担当課において取組みを進めているところでございます。このようななか、次年度の改訂に向けて、平成30年度の取組み経過による改訂、並びに平成31年度の新規計画により大綱を見直すべきとの観点から、市長の平成31年度予算編成方針に基づく内容として進めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、これらにつきましては、あくまで予算要求段階である旨申し添えさせていただきます。</p> <p>まずは教育委員会では教育振興ビジョンに盛り込まれている、就学前教育、学校教育、社会教育、ハード整備、4つの観点から議論いただき、包括的な方向性といたしましては、安心安全と快適を基盤とした学校教育、社会教育のソフト、ハード両面に及ぶ充実、それらを魅力と位置付けた取組みの発信という大きな方針に基づき、今後の取組みを進めてまいりたい旨確認させていただきました。</p> <p>そのうえで、教育振興ビジョンに掲げる方針を拠りどころとしながら、子育てしやすい環境づくりをめざした都市整備を軸に、各課において、現事業の精査を行いつつ、既存事業の拡充や新規事業を探るなか、学校を含む教育施設の老朽化対策及び施設の維持管理については、利用者の安全性や利便性に鑑み必要であるとの認識のもと、とりわけ、学校施設については、子どもたちの命を預かっていることを念頭に置き、安心安全の観点を最重視しながら、適切な施</p>
--------------------------	---

	<p>設の維持管理に係る予算要求を行う予定でございます。</p> <p>また、パソコンのセキュリティサポート問題及び次期学習指導要領への改訂及び国の方針施策等に伴う設備充実等の対応に鑑み、学校現場を含む教育施設で使用しておりますパソコンやシステムについても、2020年1月までに、一定のシステム更新は必須の対応として考えていかねばなりません。</p> <p>以上の観点は、教育委員会内でも予算編成上高い優先順位のもと進めていく必要があると認識しており、そのなか、10月31日開催の教育委員会定例会において議論いただきましたが、ICT教育、学校教育施設、社会教育施設の維持管理、ALTの問題、飯盛城の国史跡指定、そして図書館機能の充実といった、我々事務局が提示していた重複した内容についてご提示をいただきました。</p> <p>これら重複した部分は、優先順位を高めつつ予算要求を行うとともに、それらに基づきながら教育振興ビジョン改訂に反映させていきたいと思っております。</p>
市長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、教育委員から何かございますか。</p>
山本職務代理者	<p>10月31日の教育委員会定例会で申し上げた内容と重複していますが、今日市長が仰ったように、平成27年の教育環境整備計画のなかから、学校再編整備計画だけを取り出して先ほど市長と共通認識に達したかなと思うのですが、教育環境整備計画に残っている部分が、今回いろいろ提案させていただいた部分だと思います。</p> <p>これは、27年に新たに始まったわけではなくて、学力向上と豊かな心の育成、体力の向上、そういうことがずっと本市の教育ビジョンの根幹として流れていると思っています。</p> <p>そのなかで、学力向上でいいますと、いくらあるんですけども、今まで取り組んできた大きな柱としては、読書活動、外国語、ICTの問題、小中連携が4つの柱になるかなと思っています。</p> <p>読書活動、小中連携については、予算が伴わないことはないですけども、ある程度ソフト面で充実できる部分があると思うのですけれども、外国語とICT教育については、ある程度の予算面、特に外国語についてはALTの問題がありますし、小学校の3年、4年で外国語活動が入り、5年、6年で外国語科と教科化されるなかで、やはり学校の教員の質を考えるとALTを入れて、中学校との連携を図るのが必須かなと思います。</p>

	<p>ICTの問題については、2020年までに一定のシステム更新をしないとといけない必須の問題があると思うんですけども、考えますと、本市のICTの整備についてはちょっと遅れていると危惧をしています。この間、四條畷高校の一年生がプレゼンをするという場面があって、その状況を聞きました。高校の1年生、ようするに中学校3年生が卒業してすぐ高校1年生になってその場所でコンピューターを使ったプレゼンをするというもので、素晴らしいプレゼンをしているという状況を聞きました。本市の中学校3年生が入って、果たしてプレゼンができるのかと気にしています。</p> <p>ICTの整備は、コンピューターの整備をするということはもちろん最低条件になるんですけども、小学生ではプログラミング教育が始まりますし、中学校ではプレゼン能力を身に着けないと高校、大学を出て、社会に出て行くときにプレゼンできる力はすごく大きいと思います。できれば本市の小学校、中学校のあたりからそういう力をつけていく、子どもたちのこれからの姿を見れば、そういうICTの整備は避けて通れないと思っています。</p> <p>それで、今、説明があったように、ICT教育は重要な課題として出してもらったと思います。</p>
市長	<p>そのほか委員からありますか。</p>
吉田委員	<p>来年度から全国学力・学習状況調査の中学校の英語で、パソコンを使用したテストが始まるということで、それに対応することが必要になってくると思います。何かトラブルがあったときに、学校の先生だけでは対応できないことが考えられるので、そういう場合に支援員の方がいないことは本市の学力状況にとっても影響するのではないかなと思っています。</p>
市長	<p>ありがとうございます。よろしいですか。</p> <p>今、お示しいただきましたとおり、種々来年度以降も市にとって重要な事項がたくさんございます。パソコンの整備であったり、支援員さんのお話も必要なものがあるとお話をいただきましたけれど、教育委員会の進める教育行政、これも非常に重要であって本市で最も必要かつ重要なものである、この認識は私も持っているところであります。</p> <p>ただ、市の財政は打ち出の小槌ではありませんので、教育委員会としてパソコンがいる、支援員さんもいるとなれば、教育委員会と</p>

して何が重要かをしっかり精査していただく必要がある。言えばお金が出てくる世の中ではございませんので、昨今災害も続いているなかで、安心安全は何も子どもだけの問題ではなくて、働く人、高齢者含めて整備が求められているのは言うまでもないです。

たとえば教育委員会が2020年までにいると言っても、お金がなければ整備ができません。教育委員会は今あるものは全部残したい、でもこれもいる、これは理屈としては基本的には通らないと、まず強く認識していただくところから始めていかないと。これまでと違いますので、どんどんお金がつかかという、そういうことではございません。それに加えて、再編に向けた四條畷小学校の整備であったり、老朽化が進む校舎の改修、あるいは昨今の温暖化に対応するエアコンの整備であったりとかも、言い出したらきりがないことと思います。

であるからこそ、教育委員会で真に重要なものとそうでないものをどれだけ議論したか、5人の委員で集中して本当にやっぱりここが重要なんだというのが明確に見えないと、非常に苦しい。

先般、ICT整備計画という、教育委員会名で出していただいている計画をいただきました。けれども、本市として、今、ICTで全庁的なプロジェクトチームを立ち上げて、いかに効果的な整備をしていこうかという議論をしている最中、そうしたチームとの連携もなく、教育委員会として独立して計画を作られている。これでは甚だ無駄が生じているとしか私としてはお伝えできない。

とりあえず計画を作ったと我々にお示しいただいたところで、我々市長部局と十分な議論もないまま出された計画で、おいそれと予算を付けるということは起こりえないことをもう一度言わせていただきたいと思います。

重ねて、この再編以外の学校施設整備に関する計画というのも先日いただきましたけれども、全体のなかで公共施設の老朽化が進んでおり、全体のお財布のなかで優先順位を付けていかなければいけないのに、教育委員会だけ独立して計画を作ってそれをぼいといただいても、どれが優先度が高いのか、どういうふうに全体のお財布のなかで優先順位を付けていったらいいのか、これは当然困ってしまうとしか言いようがございません。

そうした、何が重要で何に重点的に必要なものなのか、一定、時間をかけていけるものなのかどうなのか。その議論を密にしたうえで、教育委員会は教育委員会でやるという精神ではなくて、市全体で立ち向かっていかないといけないので、市長部局の必要な部局と

<p>吉田委員</p>	<p>ともに、いかに市全体でコストをかけずに目標を達成するのかという観点を改めて持っていただく必要があると思います。</p> <p>そういう認識がないなか、これがある、あれがあるといわれても、これは到底無理と思っているので、本日前半で議論させていただいた学校再編整備計画のように、もっと密に市長部局と議論いただいて、先般いただいた11月の施設整備計画であったり、ICT整備計画は、今のままだと財政部局としても予算のつけようがないと私は思っております。なので、再考をきっちりしていただいて、必要部署と連携したうえで、新たにきっちりとした計画をお示しいただきたいとこの場で言わせていただきます。</p> <p>市長が言われたことはとってもよく理解できます。いくらいっても出ないものは出ないというのは理解するところなんですけれども、順位を決めることはとても難しいことではあると思います。</p> <p>そのところで必要順位が決まってくると、カテゴリで必要順位が決まってくると思うんですけれども、連携して、どれが最優先か、どれが最優先でないかは考えていかなければいけないのは理解しています。</p> <p>ただ、こちらの意見も言わせていただける場なのかなと思っていますので、これからもよろしくお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>確かに、優先順位を付けるのは難しいことです。ただ、この場にいる人間で、教育行政の順位付けができるのは皆さん5人しかいませんよね。</p> <p>教育委員会で、何が大事で何を待とうかという決定をする権能を持っているのは、こちらにいる5人しかいないはずなんです。それを、部分部分が大事という議論を5人の方がしておられれば、これは全く前に進みません。この場にいる5人のなかでとはいえ、これはやっぱり重要だろうという熟議をきっちり教育委員会でしていただかないと。苦しいことも痛みを伴うこともありますけれども、5人でしっかりと意思決定をしていただくことが教育委員の役割だと思うので、きっちり認識していただければと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>市長が就任されてから、特に教育委員会の教育環境、その他ソフト面、ハード面、非常に強い関心を抱いていただきまして、私のほうも、本当に定期的に、毎週意見交換をしようとして積極的に呼びいただきまして、思いを二人で交換しあってきたと思います。そのなかで、私も思いを語らせていただいたなか、市長も市全体を見た</p>

	<p>なかで教育として何が重要であるかをしっかりと議論してほしいと常日頃から私のほうに言われているのだらうと思います。</p> <p>今回の件につきましては、予算編成の時期で教育委員会の学校教育、それから社会教育関係を抱えているなかで、やはりどうしてもという思いが先走りしたというのがあったのではないかなと思っております。市長がさっき仰ったような、市の財政部門としっかりと協議調整したなかで進めていかなければならないというご指摘については、深く反省させていただいて、我々としてできることからしっかりと進めていきたいという思いを強く5人の委員でまとめさせていただいて、今後、しっかりとこの計画を出させていただきたいなと思います。</p>
市長	<p>財政部門というより、ICTだったら情報政策を担当している部署があるわけであって、設備改修だったら施設再編という部署があるのであって、そこは最低限ご議論いただかないと前には進まないのかなと思います。</p>
教育長	<p>今のは訂正させていただきます。</p> <p>担当部署としっかりと協議調整したなかで計画策定して、そこで詰めていきたいと思います。</p>
教育次長兼教育部長	<p>二つの計画についてご指摘をいただいております。これについては、市長が仰るとおり、施策の優先順位であったり作り込みについて、一部、不備があったのかなと理解しております。</p> <p>ただ、今、市長ご指摘のことを全くしていないわけではなくて、ICTにつきましては、市が進められる政策全般との整合を図りつつ、ご教示をいただきながら、また、文科省の状況を踏まえて策定した経過がございますので、これについては情報担当から意見をいただきつつ策定した状況があります。</p> <p>また、個別の設備関係の計画につきましても、年度当初、学校再編といった大きな改修とそうでないものの棲分けをさせてもらったうえ策定したので、全くゼロではないということをご理解いただけたらと思っています。</p>
市長	<p>十分にやっていたらと思います。少なくともICTを担当するプロジェクトチームのリーダーは全く知らなかったわけなので、十分であったとは言えないと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>

<p>山本職務代理者</p>	<p>視点が異なるかもしれないんですけども、私自身はこの予算については、我々が考えている部分がすべてといたしますか、おそらくほとんどしんどい部分だろうなというのはわかったうえで、こういうことを申し上げています。</p> <p>市長も苦勞されていて、教育に関して予算を付けてという配慮をいろいろしていただいているのは存じ上げているんですけども、一方、私としては夢を語らせてほしいなど。</p> <p>教育というのはある程度夢がないとできないことですので、夢を語らせてほしいなというのがあります。前の市長、あるいはその前の市長にも同じようなことを申し上げたことがあるんですけども、教育委員会から予算をあげるときに順位を上げていって、全体の枠のなかで本当に必要なものが1番であっても、全体の予算の枠で本当に必要なものが1番であっても、3番、4番のものが認められることがありました。</p> <p>それをせずに、教育委員会の予算を総枠で付けて、配分については教育委員会に任せてもらえないかということは何度も言ったことがあります。</p> <p>市長にはそういうことを言ってませんので、そういうことを、今、初めて言っているのですけれども、こういう予算しかないのであれば、ほんとうに本市の教育の夢の部分を語れないのではないのかなと。確かに予算が付く部分もありますし、付かなくて夢を語れる部分もありますが、全く精神論で夢を語っても意味がありませんので、ある程度、教育環境に裏打ちされた夢を語りたいので、ICTを申し上げます。</p> <p>昨年度でしたか、東京のほうにプログラミング教育で視察に行っただけでまいりました。とてもではないですが、本市ではできないようなことをしている市があります。予算面ではとてもできない、本市の教育予算の全部を投資してICT教育をしている市があります。そんなことを求めているのではなくて、一方でそういう市もありますので、我々としても考えられる部分については夢を語らせてほしいなど。そのなかで、できるところまでの部分で子どもたちにより良い教育環境を作れたらという思いを語らせてもらったのが本音のところなんです。</p> <p>そこらあたりで、我々の夢を語る部分をご理解していただけたらありがたいなと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>どちらかという逆かなと思います。なるべく全体のなかで、私</p>

としても子どもにとって良いまちと考えたら、教育委員会が進める予算を確保したいと思えば思うほど、市役所全体の他部署が、教育委員会が思い描く未来にお金を付けて正解だなど、市議会の皆さんも、市民の皆さんも、教育委員会が思い描く未来に適正な予算措置がされているなど思ってもらえたら教育委員会の予算が増えるわけですよ。

周りの方々とともに、一緒にまちを良くしていく仲間たちに、教育委員会が良いものというのを示せるがゆえに次に進んでいけるのであって、教育委員会だけが夢を描いてそれが届いていないみたいな解釈をしていただくとそれはちょっと違うかなと。

もっともっと市民の皆さん、市議会の皆さん、そして他部署に対しても、教育委員会が立てる計画は、なんて夢があって、あれには重点的に予算が配分されるべきだという計画があがってきたら、私は躊躇いなくその計画にしっかりつけていこうとなるわけであって、そこを発想の逆転をしていただくと私としては非常に辛いなと思います。

増やしたいがゆえにきっちりと協議をしていただきたいのを申し伝えているということです。

小田委員

全然関係ないことをしゃべると思うんですけども、市役所内の部署とかははっきりとは私はわかりません。市長が仰っていることも、今そんなふうにして予算って決めるんだなど、やっと理解した感じなんですけれど、教育に関して言えば、ICT教育とか英語教育、それをしっかりすることは、お母さんたちが絶対見ているし、子どもたちに絶対反映してくるんですね。

学力は平均を下回る、上回るのは一喜一憂することではないんですけども、そういう環境をきっちりすることは、私たち大人の責任だと思うんですね。どこの市と張り合うことではなくてもいいと思うんです。全国的に本市はどれぐらいというのも、別に張り合わなくていいと思うんですけども、必要最小限のパソコンを置くとか、ICT教育を必要最低限、きちっと私たちがしてあげる、予算がどれくらいというのは私もよくわかりません。そういう話は本当によくわからないんですけども、理想かもわからないけれども、私たちはそれを示して、あとはよろしくお願いしますとしかないです。

それが、学力が伸びてきた子どもたちが落ち着いてきた、子どもたちが頑張っているなどということが市民に見てもらって、よその市からも四條畷市は頑張っていることがわかって人口が増えるところにいくんじゃないでしょうか。来てくれるんじゃないでしょうかと

市長	<p>思います。</p> <p>よその部署がわからないとか、詳しいことがわからないと言ってしまおうとそこで終わってしまうので、わかろうとしていただきたいと思います。家のドアは壊れているのにテレビゲームを買ったりしないですよ、まず家のドアを直しますよね。そういう話をしてるんです。</p> <p>家計の財布は一つに決まっていますので、いくら子どもが大事だと言われても、お風呂が壊れてて、窓も割れてて、子どもにお金をかけられないのと一緒にです。全体のなかで何が大事か、そのなかでも、これが本当に必要だと全体として考える。当然、教育委員会独自の権能というのはあるわけなので、それはしっかりとお示しいただいたらいいと思いますし、それに協力できるようにしたいと心から思うからこそ、共に考えていこうという姿勢を示していただかないと、先ほどからずっと夢を描くとか、詳しくはわからないけどつくったと言われてしまうと、そこで議論が止まってしまいます。</p> <p>ではなくて、一緒になっていいものをやりましょうというお話をさせていただいているだけなので、ご理解いただきたい部分ではあるかなと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>もしなければ次第2、平成31年度の教育施策についてはこれで終わらせていただいて、3、その他に移らせていただきたいと思います。</p> <p>委員ないしは事務局から何かありますか。</p> <p>いいですかね。</p> <p>もしないのであれば、これをもって平成30年度第4回総合教育会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>
----	---